

市況等に関する月例報告書（平成27年7月分）

部 門	市況の概要
(青果部の動向)	
全 般	7月の総入荷量は、6月の降雨と7月中旬以降の高温乾燥に伴う正品率の低下等で入荷の増減が大きい品目が目立ち、入荷量は前年同月比、野菜で微増、果物で減となったが、全体としては概ね前年同月並みとなった。単価は安値だった前年同月比で19%上回った。
(区分別の動向)	
野 菜	7月期の野菜の市況は、入荷量は前年同月比で微増となったが、台風や高温乾燥による正品率の低下等で入荷の増減が大きい品目が目立ち、全体的な品薄感が高まったことから全体として高値基調で推移し、単価は前年同月を22%上回った。 根菜類は、前年同月比入荷量は10%上回り、単価は29%上回った。 葉物類は、前年同月比入荷量は5%下回り、単価は28%上回った。 果菜類は、前年同月並みとなり、単価はトマト以外の品目の品薄感から、20%上回った。 土物類は、前年同月比入荷量が15%上回り、単価は35%上回った。 8月の季節商材としては、枝豆が出荷のピークを迎える。市内産を中心とした近郷産地の束売りの枝豆は、7月の台風や豪雨による泥はねや水浸かりにより品質が下がり、出荷量は例年の8割程度と見込まれることから、単価は例年を上回るものと思われる。 また、ブランド京野菜である京夏ずきんや紫ずきんの入荷が年々早まっており、今年は京夏ずきんが8月6日から、紫ずきんは9月第一週から本出荷がスタートする見込みである。いずれも水害やカメムシの害も少なく質・量ともに充実しており、単価は例年並みとなるものと思われる。京夏ずきんは、今年度試験的に前倒しで栽培し、7月に出荷されたものの品質が良好であったことから、来年度はさらに入荷が早まる見込みである。 岐阜、秋田、山形から入荷される遠地の枝豆の作柄は例年並みで比較的良好だが、近郷産地の入荷増に伴って単価安になると見込まれる。 枝豆の売り上げには日中の気温よりも夜温が大きく影響し、夜温が30℃を超えると、茹でる作業が敬遠され、売り上げが下がるといわれている。
果 実	7月期の果実の市況は、春先の天候不良や5月の高温、6月の降雨が影響し、全体的に前進出荷となるとともに、正品率が減少し、品目により増減があるものの、前年同月比入荷量が6%下回り、単価は11%上回った。 柑橘類は、前年同月比入荷量が9%上回り、単価は13%下回った。 リンゴ類は、新物の早期入荷が見込まれる中、越年物の終了時期を早めるため、前年同月比入荷量が28%上回り、単価は小玉を中心に引き合いが強く10%上回った。 桃は、前年同月比入荷量が13%下回り、単価は16%上回った。 ブドウ類は、前年同月比入荷量が8%下回り、単価は11%上回った。 メロン類は、前年同月比入荷量が4%上回ったが、単価は4%上回った。

	た。 スイカ類は、前年同月比入荷量が１０％下回り、単価が９％上回った。 ８月の季節商材としては、露地物のブドウが最盛期を迎える。デラウェア等の小粒系統は山形と山梨からの入荷が主となるが、５月の豪雨により良品率が下がり、小房傾向で出荷量も少なく高値傾向となる見込みである。 種無し巨峰、ピオーネ、藤稔、シャインマスカット等の大粒系統は、福岡、岡山、山梨から入荷され、作柄は良く、５日程度の前倒し出荷となり、質・量および単価ともに昨年並みとなる見込みである。 ブドウ類は、８月６日頃から盆商材として取引が活発化し、台風による梨や桃がやや不作傾向であり、例年より引き合いが強まる見込みである。
--	--

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	北海道と青森を中心に入荷され、生育・作柄共に良好で、入荷量が前年同月を１３％上回ったが、量販店や加工業者の引き合いが強く、価格は５１％上回った。
西洋ニンジン	北海道を中心に青森、兵庫、和歌山から入荷され、入荷量が前年同月を８％上回ったが、北海道と青森が品質不良で切上り時期が早く、品薄感から価格は２９％上回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長野から入荷され、作付け減と長雨の影響で入荷量が前年同月を１２％下回り、価格は３３％上回った。
キャベツ	群馬と長野を中心としたで、入荷量は前年同月並みとなり、加工需要による品薄感で、価格は３１％上回った。
ホウレンソウ	岐阜を中心に北海道、茨城、滋賀、京都から入荷され、６月下旬の低温や７月の台風、中旬以降の高温で生育・作柄が悪く、入荷量は前年同月を７％下回り、価格は１７％上回った。
レタス	長野を中心に入荷され、梅雨とその後の高温による品質低下のため入荷量が前年同月を７％下回り、価格は２４％上回った。
【果菜類】 キュウリ	京都、滋賀、福島、愛媛、北海道から入荷され、６月の低温と７月の台風の影響で入荷量が前年同月を１１％下回り、価格は４４％上回った。
ナス	徳島、岐阜、京都、滋賀から入荷され、台風の影響で主要産地の徳島からの入荷が減少したため入荷量が前年同月を１７％下回り、価格は３２％上回った。
トマト	北海道を中心に岐阜、京都から入荷され、入荷量は前年同月を１０％上回ったが、価格は３％上回った。
ピーマン	大分、兵庫から入荷され、入荷量が前年同月を６％上回り、全体的な品薄感から、価格は３５％上回った。
【土物類】 バレイショ （メーク含む）	千葉・茨城を中心に北海道、青森から入荷され、入荷量は前年同月を２５％上回ったが、全体的な品薄感から価格は７３％上回った。

タマネギ 【その他野菜】 生シイタケ	兵庫を中心に入荷され，入荷量が前年同月を１０％上回ったが，全体的な品薄感から，価格は３３％上回った。 徳島を中心に広島，岡山，長崎から入荷され，入荷量が前年同月を４％下回り，価格は１７％上回った。
---	--

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	佐賀を中心に長崎，大分，和歌山，福岡から入荷され，春先の天候不順による生育不良から入荷量が前年同月を３％下回ったが，価格は５％下回った。
ふじ	青森から入荷され，取引先の増加と越年リンゴの終了時期の前倒しから入荷量が前年同月を２２％上回ったが，小玉を中心に引き合いが強く，価格は１６％上回った。
桃	山梨を中心に和歌山，岡山，長野から入荷され，４月の開花期の天候不順による正品率の低下から，入荷量が前年同月を１３％下回り，価格は１６％上回った。
デラウェア	山梨，山形，大阪から入荷され，５月の天候不順により，入荷量が前年同月を１１％下回り，価格は１５％上回った。
巨峰	福岡を中心に山梨，奈良から入荷され，入荷量が前年同月並みとなり，価格は６％上回った。
アールスメロン	静岡を中心に高知から入荷され，生産量の減少から入荷量が前年同月を１９％下回り，価格は１７％上回った。
大玉スイカ	石川，長野，山形，鳥取を中心とした入荷で，生育が順調で前進出荷となり６月出荷の比率が高まったため，入荷量が前年同月を６％下回り，価格は１０％上回った。